

【学校教育目標】

自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人ひとりの「生きる力」を培い、生きる喜びを育成する

【目指す学校像】

- 1 児童生徒と教職員の笑顔があふれる安全で安心な学校
- 2 児童生徒一人ひとりの可能性を高め、個性と人権を大切にできる学校
- 3 児童生徒が主体的・協働的に授業に取り組む、自己実現できる学校
- 4 児童生徒が思いやりや豊かな感性・情操を育むことのできる学校
- 5 児童生徒も教職員もみんなが褒められる、認められる、活躍できる学校
- 6 地域、保護者、関係機関等と教職員が連携・協働できる魅力ある学校

【目指す子ども像】

- 1 自分から進んで学び、行動する人
- 2 自分の良さに気付き、人の良さを認め、人との関わりを大切にする人
- 3 自分のことを生き生きと表現し、将来の自己実現に向けて努力する人
- 4 基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心と体を育む人

【目指す教師像】

- 1 豊かな人間性にあふれ、児童生徒・保護者に信頼される教師
- 2 児童生徒が主体的・対話的で深い学びができる状況や環境を常に考える教師
- 3 明るく積極的で行動力があり、社会の変化に対応した教育を考え実践できる教師
- 4 自己研鑽に励み専門性や指導力を高める教師
- 5 尋ね合い、確かめ合いができ、コミュニケーション力・協調性・表現力に優れた教師

【教育方針】

- ① 学習指導要領に基づき、発達段階や生活年齢、学びの連続性を踏まえた教育課程を編成し、計画的、組織的な実施－評価－改善を行う。
- ② 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、保護者と連携しながら教育的ニーズを明確にした指導を行う。
- ③ 自他の個性を尊重し、互いの身になって考え、協力し合い、よりよい人間関係を築くために必要な資質を養う生徒指導を行う。
- ④ 将来の家庭生活や社会生活につながるのあるキャリア教育の充実を図るとともに、自己の進路を自己判断、自己決定できる指導を行う。
- ⑤ 学校間交流、居住地校交流など交流および共同学習を積極的に推進し、障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒の相互理解を促進するとともに、社会性や豊かな人間性を養う。
- ⑥ 安全な生活を送るための知識・技能・態度を育成するとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を養う。

【経営方針】

- ① 学校の存在意義や期待される社会的役割（スクール・ミッション）を探求し、関係機関と連携した学校運営と教育活動を推進する。
- ② センターの役割機能を発揮し、地域の特別支援教育の充実を図るとともに、共生社会の形成につながる障がい児（者）理解を促す。
- ③ 安心安全な学校生活が送られるよう教育環境を整えるとともに、職員一人一人が危機管理意識を持ちながら危機管理体制の確立を図る。
- ④ いじめの積極的な認知による早期発見と早期対応を行う。
- ⑤ 必要に応じ外部関係機関と連携しつつ、組織的な生徒指導を行う。
- ⑥ 「北海道における人材育成指標」を踏まえた教師の学びを推進する。
- ⑦ ライフワークバランスを意識しつつ、豊かな教職人生につながる働き方改革を推進する。
- ⑧ 児童生徒の人権を尊重しながら教育活動を行う。
- ⑨ 学校予算、団体会計等の計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。

【育てたい力】

- | | | |
|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">小学部</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 見通しを持って最後まで取り組む児童 ② 学ぶことに興味を持つ児童 ③ 身の回りのことに自ら取り組む児童 ④ 自分の気持ちを伝える児童 ⑤ 教師や友達と関わり、一緒に活動する児童 ⑥ 余暇時間を楽しく過ごす指導 ⑦ 元気よく身体を動かす児童 | <p style="text-align: center;">中学部</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学ぶことや働くことに関心を持ち、意欲的に取り組む生徒 ② 日常生活や社会生活のルールをまもる生徒 ③ 自分の意思を伝えたり、相手の意図を理解しようとする生徒 ④ 友達と協力して活動する生徒 ⑤ 行いたいことを自ら見つけたり、選択したりする生徒 ⑥ 意欲的に身体を動かす生徒 | <p style="text-align: center;">高等部</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 働く喜びを持ち、自分の役割を果たす生徒 ② いろいろな場面で考え、適切に判断し、行動する生徒 ③ 関わる人の意思を尊重して伝え合う生徒 ④ 自分の好きなことを広げ、充実した生活を送る生徒 ⑤ 健康を考えながら、よりよく身体を動かす生徒 |
|--|--|--|

重点課題	推 進 事 項	方針との関連
体験活動の再構築	・教育効果を高める上で、本当に必要な体験活動は何か整理する。	教育①
地域とともにある学校づくりの推進	・「ふれあい運動会」を推進する。 ・各種WITHプロジェクトを推進する。 ・教育活動を広く情報発信し、地域に周知する。 ・学校運営協議会を企画運営する。	教育① 経営① 教育⑤
学習におけるICT教育の推進	・単元のねらいを踏まえ、授業においてICT機器を更に活用する。 ・ICT機器の活用方法について研修を深める。 ・データの蓄積や保存方法などICT機器を活用する上での課題について、共通理解する。	教育②
安心安全な学校づくり	・全教職員が共通理解のもと活用できるよう、危機管理マニュアルを改訂する。 ・いろいろな状況下でも対応できるマニュアルを作成する。 ・様々な状況を想定し、各種訓練を充実させる。 ・救命救急方法や消火訓練など、子供の生命を守る実地訓練は毎年行い、確認する。	経営③
児童生徒と向き合う時間の確保	・職場内コミュニケーションが活発になる雰囲気や相互に醸成する。 ・会議方法について合意形成する。 ・複数部署に関係する懸案事項を連絡調整会議で協議するなど、横断的な業務推進を行う。 ・タイムスケジュールを作成するなど、個人において業務の見える化を図り、見通しを持たせる。	経営⑥ 経営⑦

